

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもと
づく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 医療法人財団 東京勤労者医療会 1部60円

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7

TEL 03(3404)7661

E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com

友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

2011・健康まつり

「たくさんの子供に参加してもらおう」「放射能汚染を心配している親がたくさんいる」という声をうけ、新たに子供向けの模擬店と「除染」についての講演を企画し、「2011・健康まつり」は10月15日(土)の正午からはじまりました。

午前中は激しい雨でしたが、正午には止み空が明るくなりオープニング開始、昌宏会の軽快な演奏が雰囲気盛り上げました。

続いて代々木病院の一ノ瀬義雄副院長、代々木健康友の会の石橋勝会長、千駄ヶ谷大通り商店街振興組合の牛久保英昭理事長がいさつを行い、「安全・安心のまちづくりとともに」をテーマに開幕しました。

各種模擬店

新企画の「駄菓子販売」や「スーパーボール



スーパーボールすくいは子供に大人気

、化粧品、手作り小



開店早々やきそばには長蛇の列

ふれあい広場

「ふれあい広場」で



身ぶり手ぶりをまじえ丁寧な歯科相談

今回は岩手県人会が岩手県宮古市田老の惨状の写真を展示し、支援に役立てるためにTシャツを販売。ほとんどの模擬店・企画に「東日本大震災復興支援募金箱」を設置し1万円が集まりました。

小田桐さんは最後に、国が除染を対象とする責任地域を、国民の世論に押されて20ミリのシーベルトから段階的に1ミリシーベルトに引き下げたことを述べ、民医連と友の会が世論を広げて欲しいと訴えました。

☆

初めての土曜開催で、また天気が安定しなかったにもかかわらず、たくさんの方が訪れました。足元の悪いなか来ていただいた全ての人に感謝します。



軽快な昌宏会の演奏



M&Mの息のあった演奏



明るく楽しいバンブーの合唱



小田桐さんの講演はわかりやすく大変好評

千駄の萱

気象庁によると、今年の夏の平均気温は14年間で4番目に高

かったそうである。節電の影響もあり、東京都の熱中症の搬送患者は昨年の約3倍にもなった▼今では暑かった時期が嘘のようだ。タンスの中は長袖だらけ。ふと思いつくのは、震災のおきた「あの日」も長袖を着ていたこと。春夏・秋：あれから3回目の季節を迎えたのだと実感する▼死者1万5千人以上を出した3月11日は多くの人にとって忘れられない日になった。しばらくは寄ると触るとあの日はどこにいたか、何をしていたかという話で持ちきりになったが、日を追うごとに被災地の様子を伝える報道は減少。話題に上ることも少なくなっている。しかし、未だ7万人が避難生活を送り、3千人近くが避難所にいる。原発事故の収束の目処もたっていない。震災後初めて迎える冬は心身ともに寒さに違いない▼猛暑と震災。どちらも記録的な物であったが、時間がたてば思い出さなくなってしまう猛暑と違い、あの日は終わっていない。(ま)

安全・安心のまちづくりをともに